

南国安芸道路の開通イベント参加



高知東部自動車道南国安芸道路（高知龍馬空港IC～香南のいちIC間、延長3・5キロ）の開通を記念するイベント（実行委員会主催）が2月23日に現地で開催され、NIPPOがスポンサーを務める自転車競技のロードレースチーム「ワントン・NIPPO・リユーズ」の今村駿介選手が参加した。写真（NIPPO提供）。開通前の道路を走るタイムトライアル競技に出場した。今村選手は自転車競技日本代表として2024年パリ五輪に出場している。

NIPPO後援ロードレースチームの今村駿介選手

NIPPOは今回の開通区間のうち「令和5～6年度南国安芸道路物部地区舗装工事」と「令和5～6年度南国安芸道路西野地区舗装工事」の施工を担当した。同社は1985年に実業団チームを支援する形で自転車ロードレースチームを設立。今シーズンは世界最高峰レース「ツール・ド・フランス」などに出場可能なワールドカテゴリーに属する「インターマルシェワントン」チームとスポンサー契約している。国内外でさまざまな形で自転車競技を支援し、地方創生などに貢献している。

ロードレースの 今村選手が参加

南国安芸道路開通記念 イベントでNIIPPO

NIIPPOは、高知東部自動車道南国安芸道路（高知龍馬空港IC～香南のいちIC間の3・5キロ）の開通記念イベントに、同社がスポンサーを務めるロードレースチーム「ワンティ・NIIPPO・リユーズ」の今村駿介選手が参加したと発表した写真。同イベントでは、開通前の道路約5キロを走行するタイムトライアル競技を実施。その後のトークショーでは、自転車競技の日本代表としてパリ五輪（チームパシユート、マディソン）に出場した今村選手がこれまでの競技生活について



語り、自転車競技を好む学生や一般参加者との交流を深めた。

イベント終了後、参加者からは「オリンピック選手と交流できて貴重な体験ができた」「アスリートのトレーニング、食事、睡眠について直接話を聞けて参考になった」などの感想が寄せられた。

同社は、開通区間のうち「令和5～6年度南国安芸道路物部地区舗装工事」「令和5～6年度南国安芸道路西野地区舗装工事」を施工した。

1985年には実業団チームを支援する形で自転車ロードレースチームを設立。2025年シーズンは、ベルギーの「インター マルシエワンティ」チームとスポンサー契約を結んだ。ジャパンカップ、ツール・ド・九州、ツアー・オブ・ジャパンなどにも協賛し、国内の自転車競技界や地方創生に貢献している。